

灯



日本赤十字社の推計によると、20年後には献血が大量に不足するらしい。若い世代の献血率が大幅に低下したことが大きな要因らしく、啓発運動を強化していく、とのことだ。

私が加入するロータリーク

ラブでは毎年、日

赤と協力して献血

活動を実施し、受

け付けなどの作業

を手伝っているが

最近、せっかく献

血に訪れた人をお断りするこ

とが増えた。また、わが昭和学

園でも、かつては献血協力校

として大臣表彰を受けた実績

もあるが平成11年秋を最後に

献血活動は停止したままだ。

その原因は献血の基準が40

0ccとなり、従来の2000cc

を歓迎しなくなったからだ。

その理由の詳細は承知して

いないが、400ccの方が輸血の際に危険が少なく、検査も少なく済み、効率がよい、ということらしい。他にも事情はあるようだが、もしそうだとすればそれは日赤の事情であって献血者の事情ではない。

400cc献血は18歳以上なので高校生は基本的に献血できない仕組みになっている。



草野 義輔

だが、多少効率が悪くとも高校時代に献血経験をしておけば、日赤の言う啓発活動よりはるかに若い世代への効果は大きいと思う。仮に全国五千の高校が自発的に一校1000人程度献血すれば、2000ccでもそれなりの量の確保も可能ではないだろうか。

献血する側の事情をよく考慮した行動を、日赤には期待したい。(昭和学園高校理事

長・日田市)